



2020年5月15日  
株式会社 阿波銀行

## 2020年3月期決算について

阿波銀行（頭取 長岡奨）は本日、2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の単体および連結決算を発表しましたので、お知らせいたします。

### 1. 2020年3月期決算概要（単体）

主要計数	2020年3月期	前年度比
コア業務純益	157億79百万円	2億9百万円 増益
経常利益	150億76百万円	1億2百万円 増益
当期純利益	110億18百万円	5億90百万円 増益
総預金平均残高（譲渡性預金を含む）	2兆9,369億円	880億円 増加
貸出金平均残高	1兆9,104億円	816億円 増加

### 2. 決算ハイライト

- ・コア業務純益は、有価証券利息配当金の増収により資金利益が増益となったほか、役員取引等利益が増益となったことから、前年度比2億円増益の157億円となりました。
- ・経常利益および当期純利益は、同1億円増益の150億円、同5億円増益の110億円となりました。
- ・総預金平均残高は、個人預金および法人預金などが順調に推移し、同880億円増加しました。
- ・貸出金平均残高は、徳島県内をはじめ関東地区、関西地区などが順調に推移し、同816億円増加しました。

### 3. 2021年3月期以降の業績見通し（単体）

- ・2021年3月期の業績見通しについては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気の悪化により、有価証券利息配当金の減収および与信費用の増加を見込んでおり、以下（表1）の通り減益を予想しております。  
また、現在展開している長期経営計画「As One」最終年度である2023年3月期の経営目標について、以下（表2）の通り修正いたします。

（表1）【2021年3月期業績見通し（単体）】

	2021年3月期	前年度比
コア業務純益	140億円	△17億円
経常利益	80億円	△70億円
当期純利益	53億円	△57億円

なお、上記各計数につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年秋頃まで株式市場をはじめ金融市場の不安定な局面が継続し、その後、世界経済が徐々に回復するとの前提に基づいております。

(表2)【2023年3月期 経営目標】

	当初計画	修正後	増減
コア業務純益	200億円以上	180億円以上	△20億円
コア業務純益ROA	0.55%以上	0.48%以上	△0.07%
修正OHR	60%未満	62%未満	+2%
当期純利益ROE	4%以上	4%以上	変更なし
貸出金徳島県内シェア	50%以上	50%以上	変更なし
CIS指標	80ポイント以上	80ポイント以上	変更なし

以 上